

希少難病

腎臓疾患 医療講演会

指定難病のIgA腎症、一次性ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎、急性進行性糸球体腎炎などの腎疾患について、治療や生活上の注意点などを中心に講演を行います。相談会では、事前に質問などをお受けして病気についての理解を深め、日頃、抱えている悩みや不安を少しでも解消できるよう、専門医による助言回答をしていただきます。

日 時 平成29年 7月29日（土）午後1時30分～4時

内 容 講演会と相談会（事前に質問を受け付けます。）

講演 「腎疾患とうまくつきあう」
～治療と生活上の注意点を中心に～

講師 和歌山県立医科大学
腎臓内科学講座 大矢 昌樹 講師

会 場 和歌山県立情報交流センタービッグU 研修室1
田辺市新庄町3353-9 電話0739-26-4111

対象者 腎疾患（IgA腎症、一次性ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎、急性進行性糸球体腎炎等）の患者・家族、保健・医療・福祉関係者

参加申込 参加ご希望の方は、『腎臓疾患医療講演会参加』の旨、氏名・住所・電話（FAX）番号、参加人数、手話通訳等の必要の有無をFAXまたは電話で、平成29年7月14日（金）までに下記連絡先にお申し込みください。

参 加 費 無料



和歌山県難病・子ども保健相談支援センター

和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学附属病院3階（担当：松尾）

電 話 073-445-0520 FAX 073-445-0603

筋萎縮性側索硬化症患者・家族交流会

筋萎縮性側索硬化症（ALS）とは、手足・のど・舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて力がなくなっていく病気です。

筋肉そのものの病気ではなく、筋肉を動かし、かつ運動をつかさどる神経（運動ニューロン）だけが障害をうけます。その結果、脳から「手足を動かせ」という命令が伝わらなくなることにより、力が弱くなり、筋肉がやせていきます。

その一方で、知的能力、体の感覚、視力や聴力、内臓機能などはすべて保たれることが普通です。

当センターでは、日頃抱えている悩みや、不安を少しでも解消し、療養生活に役立てられるよう患者・家族の交流会を開催します。ぜひご参加下さい。

記

日 時 平成29年7月8日（土） 13時30分から15時30分

内 容

13:30~14:00 ○講 演 「 ALSを気ままに生きる 」

講 師 林 静 哉 さん
林 千津子 さん

14:15~15:30 ○交流会 （情報交換）

助言者 林 静 哉 さん
林 千津子 さん

場 所 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9階 会議室C
(和歌山県和歌山市手平2-1-2 TEL: 073-435-5245)

対象者 筋萎縮性側索硬化症の患者・家族、関係者

参加費 無 料

申込み 6月23日（金）までに、交流会名、氏名、電話番号、参加人数、手話通訳等希望の有無を電話またはFAXでお申込ください。

申込・問合せ 和歌山県難病・子ども保健相談支援センター

担当： 松尾 ・ 葦澤

電話073-445-0520 FAX073-445-0603

和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学附属病院3階